

無産階級の排撃へより此に於ては先づ過激社会運動の
 取締法案の再現であるを以て我々が過激な政治的犠牲
 と永く奮闘の結果を得た。無産階級の地位を一變する
 必要を以てする所の日本に業維持法案ありては、若くは
 元停法案は交通公益を以て他者階級の因循の條次を修
 正せざる限り過激の美名を以てして、實は交通公益従業
 者の過激を非難する、以て故に十七條を交通
 公益並に他者のみならず通用せしむる。此の巧妙なる欺満
 である。無産階級解放運動の自由を以てして、暴力
 的專制を施すことあるが如し、立法に對しては、是等は
 の全勢力を盡して、飽迄に排撃せしむるべし。此の如く
 最良の是等は、政府が民衆の輿論と反對運動を

無視して社会を暗黒に籠望せしめられしとするが如く、專制的
 的暴法によるの通過を許さしとするならば、是等は現社会
 への唯一の望みを得たる權利である。此の如く階級唯
 一の武器を以てして、以後は、戦い、闘争、決闘の如きことを
 宜しとすべし。

大正十四年二月十一日

一憲法草案及對同 盟

決議

是等は、憲法草案の威力を以てして、憲法草案の徹底
 的撲滅を期す。

大正十四年二月十一日

一憲法草案及對同 盟